

## 平成 28 年熊本地震・ボランティア活動報告

震災発生からこれまでの動き

4/14 21 時 26 分熊本地震前震、4/16 1 時 25 分本震発生

4/19 (公社)日本鍼灸師会の要請で九州から唯一 JIMTEF (国際医療技術財団)の災害医療研修を受けた(公社)福岡県鍼灸マッサージ師会 理事矢津田善仁が県師会員 1 名を伴い現地入り。DMAT の会議に出席し神奈川 DMAT 東海大学付属病院のチームと帯同し鍼灸師チームもケア活動に参加、西部公民館を拠点施術所として設置。

4/22 矢津田ら福岡県師会 2 名再度、拠点施術所である西部公民館に入る。矢津田はウェルパル(熊本市保健所)にて今後の対応を協議。熊本県庁医療救護調整本部にて日本鍼灸師会災害支援鍼灸師チームとして登録。その後中央区調整会議にて鍼灸師チームが熊本市内の医療救護班としてケア活動を行うことを伝える。

4/23 日以降、熊本市西区拠点施術所に加え、中央区総合体育館内にも拠点施術所開設。それらを維持しつつ、中央区、西区、東区で朝のブリーフィング→巡回ケア→各区本部へ報告というルーティーンでケア活動を行った。構成メンバーは熊本県鍼灸マッサージ師会、九州看護福祉大学職員及び卒業生が中心となり活動。

5/3 より福岡県鍼灸マッサージ師会会員を本格的に現地に派遣し被災者のケアを開始

5/3 4 名派遣 西原村 山西小学校 西原中学校

5/4 7 名派遣 (西原村 5 名、熊本市内各避難巡回 2 名)

山西小 2 名、西原中 2 名、河原小 2 名。河原小ではボランティア従事者を対象としたケアの依頼を受ける。

5/8 2 名派遣 ウイング松橋

熊本県鍼灸マッサージ師会災害対策本部を解体。被災地は急性期から亜急性期に入り日常生活も落ち着きを取り戻しつつあり、避難所も次々閉鎖。それとと

もに熊本市内のボランティア活動も縮小し。現在、主に熊本県鍼灸マッサージ師会が火曜日と木曜日の午後週 2 回、熊本市立総合体育館を担当し活動。

全国からの鍼・マッサージボランティア希望者は（公社）福岡県鍼灸マッサージ師会が窓口となり主に西原村各避難所、宇城市ウイング松橋の避難所 2 箇所にそれぞれに鍼灸師・マッサージ師を派遣し活動開始。

5/11 3名派遣 西原村 のぎく荘 10名施術 構造改善センター6名施術 村民体育館 10名施術

5/22 3名派遣 西原村 山西小 構造改善センター

5/23 2名派遣 西原村 西原中 7名施術 山西小 9名施術

5/28 2名派遣 西原村 村民体育館 10名施術

5/29 2名派遣 西原村 村民体育館 13名施術

5/30 3名派遣 西原村 西原保育園、保育士へ鍼とマッサージ、園児小学生に小児鍼

5/31 3名派遣 西原村 西原保育園、保育士 10名にマッサージ、乳幼児小学生 27名に小児鍼

6/02 4名派遣 西原村 山西小 6名(1名小児鍼)、構造改善センター2名、村民体育館 4名施術

月日の経過とともに、避難所や仮設住宅での生活が長期化し精神的・肉体的なストレスが大きくなると示唆されます。またまだ車中泊をしている被災者もあり、エコノミークラス症候群などが原因で関連死とかという重篤な事案も発生しています。

被災地では鍼灸師、マッサージ師の支援活動が大変有益なものとなっており、被災者、ボランティアに従事している職員にとっても大変喜ばれています、現地コーディネーターからも鍼灸師・マッサージ師をスペシャリストボランティアとして必要とされています。

今後長期化する避難生活を支えるため、鍼灸師・マッサージ師の継続的なケアが必要となりますので一人でも多くのボランティア参加をお願いいたします。